

名匠アンドレーエが描く音の饗宴「展覧会の絵」

ドイツ正統派ピアノリズムの
名手オピッツのブラームス

2019

1/19(土)・1/20(日)

京都コンサートホール

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分
午後2時30分開演 (午後1時30分開場)

Sat, January 19, 2019 / 2:30PM

Sun, January 20, 2019 / 2:30PM

Kyoto Concert Hall

©伊藤菜々子

©Danielle Vass

京都市交響楽団

第630回 定期演奏会

The 630th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

指揮 **マルク・アンドレーエ**

Conductor: Marc Andrae

ピアノ **ゲルハルト・オピッツ**

Piano: Gerhard Oppitz

ブラームス：ピアノ協奏曲第1番ニ短調op.15

ムソルグスキー(ラヴェル編曲)：組曲「展覧会の絵」

Brahms: Concerto for piano and orchestra No.1
in D minor op.15

Mussorgsky (orch. by Ravel): "Pictures at an Exhibition" suite

開演前(午後2時ごろから)は
指揮者による「プレトーク」でお楽しみください。
「プレトーク」はホール・ステージ上に開催します。

入場料 **S ¥5,000** **A ¥4,500** **B ¥3,500** **P ¥2,000** (舞台後方席)

当日残席がある場合のみ発売 ▶ 学生券 & 後半券 **S ¥2,000** **A ¥1,500** **B ¥1,000**

※学生券は開演1時間前から(学生証をご提示ください)、後半券は開演後から休憩終了(後半開始)まで発売(学生券は、席種は選べますが、座席指定はできません)。

- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約)をご利用ください。
(お子様お1人につき1,000円/2019年1月11日までに京響075-711-3110へお申し込みください)
- ◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。
京響(075-711-3110)までお問い合わせください。

プレイガイド(電話予約)

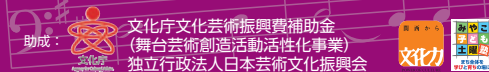
- 京都コンサートホール… (075)711-3231
- ロームシアター京都… (075)746-3201
- 24時間オンラインチケット購入 <https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>
- チケットぴあ… (0570)02-9999 Pコード349-203
- ローソンチケット… (0570)000-407 Lコード58098

お問い合わせ

京都市交響楽団 (075)711-3110 <https://www.kyoto-symphony.jp/>

京都コンサートホール (075)711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>

©未就学のお子様のご入場はお断りいたします。 ©都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。



主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 京都市



協賛：ローム株式会社

協力：株式会社ドルチェ楽器

後援：(株)エフエム京都

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。

Rohm Music
Foundation
ロームミュージックファンデーション



京都市交響楽団 第630回定期演奏会

The 630th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

マルク・アンドレーエは祖父から続くスイス名門音楽一家出身の指揮者。ヨーロッパの伝統を受け継ぎつつ現代曲にも取り組むアンドレーエならではの「展覧会の絵」にぜひ期待を。巨匠ケンプの音楽の後継者で、世界最高のブラームス演奏者と称賛されるゲルハルト・オピッツが奏でるのは、若きブラームスの魂と詩情あふれるピアノ協奏曲第1番。歴史に残る名演必至のステージがここに！

指揮

マルク・アンドレーエ

Conductor : Marc Andreea



スイスの著名な音楽一家に生まれる。チューリッヒ音楽大学で学んだ後、パリでナディア・ブーランジェに、ローマとシエナでフランコ・フェラーラに師事する。1966年、ルドルフ・ケンペ/チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団主催の指揮者コンクールで優勝し、1968年には、フィレンツェのAIDEM作曲コンクールで優勝を果たした。1969～91年スイス・イタリア語放送管弦楽団の音楽監督を、1990～93年ミラノ・アンジェリウム管弦楽団の芸術監督を歴任し、1989年よりエンガディン交響楽団の正指揮者を務めている。1999/2000シーズンのゲッティンゲン交響楽団のコンダクター・イン・レジデンスとなり、2001年には自らイタリア・スプリア交響楽

団を設立した。これまでに、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、ベルリン放送交響楽団、ハンブルク北ドイツ放送交響楽団(現NDRエルプフィルハーモニー管弦楽団)、ケルンWDR交響楽団、ウィーン交響楽団、hr交響楽団(フランクフルト放送交響楽団)、バンベルク交響楽団、プラハ交響楽団、フランス国立管弦楽団、ローマ・サンタ・チェチーリア国立管弦楽団、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団、スイス・ロマン管弦楽団、日本では、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団等を指揮している。また、ザルツブルク、ルツェルン、フィレンツェ、チューリッヒ、ルガーノでの音楽祭にも登場している。これまでに60を超えるCD、DVD、LPをリリースしており、2度のディスク大賞を獲得。1978年には、パウル・ヒンデミットの後継者として、イタリア・アントン・ブルックナー協会名誉会員に選出された。1999年、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の総裁であったウルヒ・メイヤー・シュルコップの推薦で、UBS銀行文化財団から指揮者としての功績を称える名誉賞を受賞する。さらに2005年には、サンマリノ政府よりオフィジエの称号を授与される。新しい作品にも積極的に取り組み、これまでに、フェルディマン、グロボカール、ジョエル・ホフマンをはじめとする数多くの作曲家による作品を初演している。また、シューマン、リスト、チャイコフスキー、ウェーバー、ロッシニ、ドニゼッティの作品を発掘し、編纂している。

ピアノ

ゲルハルト・オピッツ

Piano : Gerhard Oppitz



©Concerto Winderstein

ドイツ・ピアノ界の正統派を代表する演奏家。音楽解釈におけるこの楽派の流れは、オピッツ自身の師であるヴィルヘルム・ケンプに繋がり、その源流はリストやベートーヴェンにまで直接遡る。1953年、バイエルン州生まれ。パウル・バックに師事した後、1973年にヴィルヘルム・ケンプと出会い、教えを受けるようになる。自身の解釈との著しい相似性に感服したケンプの遺志により、オピッツは後継者として音楽的伝統を引き継ぐこととなった。1977年、第2回アルトゥール・ルーベリンシュタイン・コンクールで第1位となり、一躍世界的に脚光を浴びる。翌年には、名門ドイツ・グラモフォンより最初のレコードをリリース。これまでに、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団をはじめ、バイエルン放送交響楽団、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン交響楽団、ボストン交響楽団、フィラデルフィア管弦楽団、クリーヴランド管弦楽団、ピッツバーグ交響楽団等のオーケストラと、カルロ・マリヤ・ジュリーニ、リッカルド・ムーティ、ロリン・マゼール、ズーピン・メータ、サー・コリン・デイヴィス、ヴォルフガング・サヴァリッシュ、ホルスト・シュタイン、サー・ネヴィル・マリナー、ヘルベルト・ブロムシュテット、ドミトリー・キタエンコ、ガリー・ベルティーニ等の指揮者と共演している。近年はリッカルド・ムーティの信頼厚く、各地で共演を重ねており、2006年ウィーンの楽友協会大ホールでバイエルン放送交響楽団と、2007年にはニューヨーク・フィルハーモニック定期で共演をし、ニューヨーク・タイムス等で絶賛された。また2016年には、ムーティ指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団との共演でザルツブルク音楽祭に登場した。古典から現代まで幅広いレパートリーを持ち、ベートーヴェンとブラームスに関しては、世界最高の演奏者の一人として確固たる地位を確立している。また、発売されたCDは既に40枚を超え、いずれも高い評価を獲得している。日本では1994年、NHKテレビのベートーヴェン・ソナタの演奏およびレッスンが爆発的人気を呼んだ。2015年より「シューマン×ブラームス連続演奏会」をスタートさせ、好評を得ている。親日家でもあり、日本で最も人気のあるピアニストの一人である。



©伊藤菜々子

京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。2014年4月から常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2015年広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年記念国内ツアーと京都市内で「ふらっとコンサート」を開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。「第37回音楽クリティック・クラブ賞」受賞。2017年4月からは下野竜也を常任首席客演指揮者に据えて広上・高関・下野による3人指揮者体制を確立し、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。

2018 11/17(土)から発売!

❖ 次回予告 ❖

2018 12/27(木)から発売!

第631回定期演奏会

秋山和慶 & 小山実稚恵のドラマティック・ラフマニノフ!
円熟を極める至高のピアノ協奏曲第2番 & 交響曲第3番

日時: 2019年2月15日(金) 午後7時開演

会場: 京都コンサートホール

指揮: 秋山 和慶

独奏: 小山 実稚恵 (ピアノ)

曲目: ラフマニノフ: ピアノ協奏曲第2番ハ短調op.18
ラフマニノフ: 交響曲第3番ハ短調op.44

第632回定期演奏会

広上淳一のマーラー「夜の歌」!
世紀末に異彩を放つ後期ロマン派交響曲の金字塔

日時: 2019年3月16日(土) 午後2時30分開演

2019年3月17日(日) 午後2時30分開演

会場: 京都コンサートホール

指揮: 広上 淳一 (常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザー)

曲目: マーラー: 交響曲第7番ホ短調「夜の歌」



©Wataru Nishida



©K.Miura

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)